

大雨・台風 自然災害に備える

毎年6月1日から10月31日は、
集中豪雨（梅雨）や台風による
被害が起きやすいことから
「出水期」と呼ばれています。
今一度、災害について考え、
災害に備えましょう。

天 気予報は、テレビや新聞、ラジオなどで毎日確認できる重要な情報です。最近ではスマートフォンも普及し、より手軽に情報入手できるようになりました。日頃、何気なく見聞きする天気予報ですが、大雨の可能性が高くなっている、台風が接近しているなどの情報があれば、要注意です。普段以上に気象情報に注意し、家族の連絡先や最寄りの避難所を確認するなど、心構えを一段高めて災害に備えましょう。

「大 雨「洪水」「暴風」などの「気象警報」が発表されたときは、危険が差し迫っている状況です。また「記録的短時間大雨情報」や「土砂災害警戒情報」が発表されたときは、さらに危険な状態を意味しています。河川や水路の増水や越水、強風による倒木、土砂災害の危険が非常に高くなっていますので、常に気象情報や周辺状況などの把握に努めつつ、避難準備を行い、早めに避難しましょう。また、瞬く間に身の危険を感じるような状況になるときもあります。状況に応じて少しでも身を守る行動を取りましょう。

「特 別警報」が発表されたときは、既に重大な災害が発生しているもおかしくない極めて危険な状態、あるいは、数十年に一度のこれまでに経験したことがないような異常な状態が予想されます。すぐに避難を完了してください。

表1. 避難情報が発令される状況と取るべき行動

種類	危険度	発令時の状況	求められる行動
避難指示 (緊急)	↑	<ul style="list-style-type: none"> 災害が発生しそうな兆候や現在の切迫した状況から、被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況 堤防の近くや、お住まいの地域の特性などから被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況 被害が発生し始めた状況 	<ul style="list-style-type: none"> 避難中の人は、すぐに避難を完了してください。また、外が危険な場合は、自宅や近くの建物の2階などに避難し、屋内で安全を確保してください。
避難勧告		通常の避難ができる人が避難を始めなければならない段階であり、被害の発生する可能性が明らかに高まった状況	<ul style="list-style-type: none"> 通常の避難ができる人は、決められている避難所などへの避難を始めてください。
避難準備・ 高齢者等 避難開始		避難行動要支援者（※）が避難を始めなければならない段階であり、被害の発生する可能性が高まった状況	<ul style="list-style-type: none"> 避難行動要支援者は、避難を始めてください。周りの人は支援を始めてください。 通常の避難ができる人は、気象情報に注意し、家族との連絡や非常用持出品の用意など、避難準備を始めてください。

※避難行動要支援者・・・高齢者や乳幼児、障がいをお持ちの人など、避難に時間を要する人



放送内容を聞き逃した！
聞きにくかった！



① いわてモバイルメール
メールアドレスの登録

「防災行政無線からの放送がよく聞き取れない」という問い合わせをいただくことがあります。市では個別に対応していますが、その日の天候や状況（周りの作業音など）によっては、完全に聞き取ることは難しいものです。市では皆さんに重要な情報を確実に伝えるため、防災行政無線だけではなく、次のように多様な災害情報伝達手段を用意しています。

特に、近年は携帯電話を所有している人が多くなりましたので、お手元の携帯電話に情報が届く「いわてモバイルメール」への登録をおすすめしています。ぜひご登録ください。

「いわてモバイルメール」の配信を選択すると、放送内容がメールで届きます。登録は、QRコードか「いわてモバイルメール」で検索し、画面に従って進んでください。



② 市ホームページ

市ホームページのトップ画面右下のお知らせ掲示板の「防災行政無線について」で放送内容を確認できます。

③ 無線放送電話応答サービス
（☎684-4192）

電話をかけていただくことで、放送内容を再度聞くことができます。

定時放送の音量を下げています

昨年10月下旬から、定時放送（昼・夕方）の音量を下げています。音が高く耳や頭が痛くなるなどのご意見を頂いたことと、定時放送は毎日の放送であること、緊急放送など定時放送以外、その重要性からこれまでどおりの音量で放送しています。ご理解いただきありがとうございます。

緊急放送など定時放送以外、その重要性からこれまでどおりの音量で放送しています。ご理解いただきありがとうございます。

緊急速報メール(エリアメール)

災害（地震や津波）や危険（ミサイル発射など）が差し迫っているとき、または、避難情報などを発表したときは、アラームとともにその内容を携帯電話に通知します。このメールが届いたときは、テレビやラジオで災害などの情報を確認し、行動しましょう。

災害から大切な命を守るために (チラシ) を作成しました

今回の広報で記載した内容や市からの避難情報、気象台が発表する防災気象情報の種類や解説をはじめ、具体的な事例と、それぞれとるべき行動・対応を分かりやすく解説したチラシを作成しました。A3版面サイズの防災マップとともに、市役所1階総合案内窓口で配布しています。（市ホームページでも公開しています）

主な災害の種類と備え

【1. 大雨による主な災害は…】

災害の種類	備え
山崩れがけ崩れ	大雨による山崩れや土砂災害は、大雨降る前や降っている間に、危険な場所から避難してください。
土砂災害	大雨による土砂災害は、大雨降る前や降っている間に、危険な場所から避難してください。
地すべり	大雨による地すべりは、大雨降る前や降っている間に、危険な場所から避難してください。
洪水被害（河川氾濫）	大雨による洪水被害は、大雨降る前や降っている間に、危険な場所から避難してください。
浸水被害（内水氾濫）	大雨による浸水被害は、大雨降る前や降っている間に、危険な場所から避難してください。
冠水被害（冠水）	大雨による冠水被害は、大雨降る前や降っている間に、危険な場所から避難してください。

【2. 噴火予報・警報・噴火警戒レベル】

警戒レベル	避難の目安
1	火山活動の状況を確認し、避難の準備を完了させる。
2	避難の準備を完了させ、避難場所へ避難する。
3	避難場所へ避難し、避難行動要請区域から避難する。
4	避難場所へ避難し、避難行動要請区域から避難する。
5	避難場所へ避難し、避難行動要請区域から避難する。

【3. 地震・津波に関する避難表示の流れ】



災害から大切な命を守るために…